日本土壌肥料学会創立100周年記念若手主催シンポジウム

若手研究者が開拓する土壌肥料学の新次元：観る、測る、予測する

2026年12月8日(火)　13:00～16:30

気候変動や土壌劣化などの課題に直面するなか、土壌肥料学は新たな研究手法を必要としています。画像解析、オミクス、AIの進展により、植物・土壌・栽培管理の複雑な相互作用を統合的に解析できる時代になりました。本シンポジウムでは、「観る」「測る」「予測する」をキーワードに、若手研究者が土壌肥料学の新たな可能性を議論します。

【Session 1】土壌と植物のインターフェースを紐解く：「観る・測る」の最前線

アシルオグル ムハンメット ラシット（新潟大学）「土壌生態系を支配する見えない捕食者を観る」

山田 大綱（広島大学）「リン欠乏を生き抜く植物の戦略を観る」

安藤 薫（摂南大学）「土壌の養分供給力を測る」

【Session 2】データ科学が切り拓く環境応答の予測と社会実装：「測る・予測する」の最前線

橋田 庸一（高崎健康福祉大学）「作物の環境応答を測る」

戸田 悠介（農研機構 農業環境研究部門）「ゲノムと環境条件から作物成長を予測する」

田中 貴（Aarhus大学）「農家圃場試験から作物の収量応答を予測する」

【総合討論】パネルディスカッション

モデレーター：西垣 智弘、植田 佳明

パネリスト：登壇者6名全員







↓ 会場（オフィス東京）詳細地図

【参加費】　無料

【事前登録】不要

【会場】　オフィス東京（右記QRコード）T3会議室（JR「東京」駅 八重洲口より徒歩5分、東京メトロ銀座線「京橋」駅 6番出口より徒歩3分）
および Webex Webinar （ハイブリッド開催；土壌肥料学会のHP [https://jssspn.jp/info-secretariat-20260831_02/; 右記QRコード] 上のリンクよりご参加ください）

↓ 土壌肥料学会 本シンポジウムサイト

主催：日本土壌肥料学会　後援：国際農林水産業研究センター

問い合わせ：国際農林水産業研究センター　西垣 智弘(nishigakit0242@jircas.go.jp), 植田 佳明 (ueday0428@jircas.go.jp)